

2025 年 4 月のブルーベリー農園その 2

ブルーベリー畑の見回りをしてい
るともうヘビも冬眠から目を覚ま
し散歩しているのを見かける。東
広島市豊栄町のブルーベリー農園
から帰りに家の廊下を見るとマル
ハナバチがへたりと座っている。

夜は冷えるので砂糖水を小皿に入れて小枝を止まり木代わりに置いてハ
チをのせておいて帰った。翌日来てみるとどうにか生きていたので外の草
むらに放してやった。かすかに羽音を響かせてくれたのでバイバイした。
多分女王バチだろうと思われる。カエルの鳴き声もにぎやかになってきて
中の春は生き物たちとの出会いがいろいろと多い

4 月 8 日（火） 農園の周囲では水を張る田んぼもあ
って田植えの準備が進んでいる。この辺りは 5 月の連
休に田植えする農家が多い



豊栄のホームセンターに買い物に行った帰りに、近く
の川の土手を見る。タンポポとオドリコソウの花がわ
さわさと咲いている



農園の庭には石の片隅でスマレが咲いている。昨年は
なかったので庭に住み着いてくれたらしい

《2025 年 4 月 15 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログ
に掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》



4 月 11 日（金） こちらは家の前の里道の隅に咲く白
色のスマレ



4 月 12 日（土） ブルーベリー畑の地べたもすっかり
草に覆われる中で剪定を続ける



4月13日(日) 雨が上がって午後から農園でブルーベリーの剪定作業を続ける。里道で雨に洗われたムスカリの青色が鮮やか



農園の管理するため池を見回りの帰りに小さい小さい池の中でミズスマシが光と影でを受けてせわしく動いていた(影の右にミズスマシが浮かんでいる)



庭のグミ(グイビ、グイミともいう)の木の蕾がふくらむ

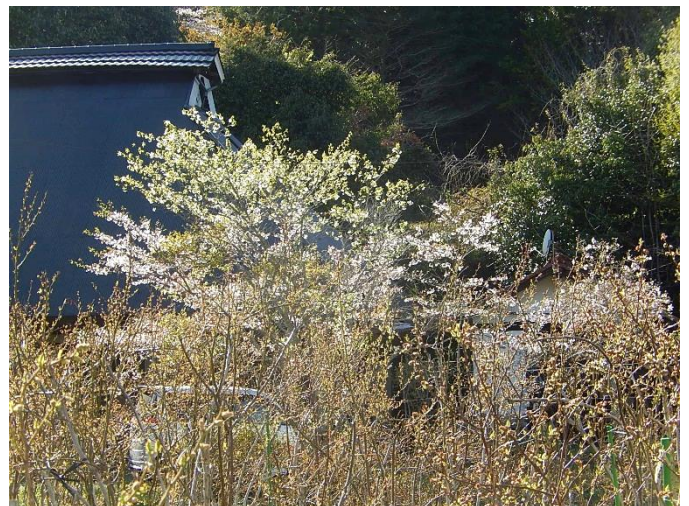


早生のブルーベリーの蕾からは花が姿を見せた。口は

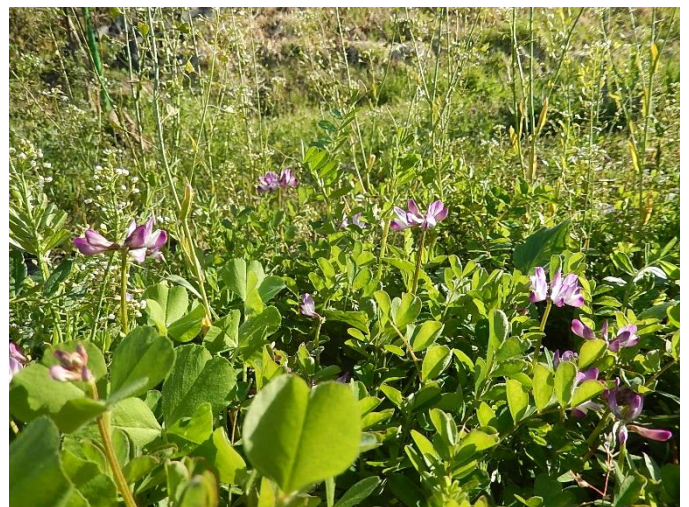
まだ閉じている



サクラ(ソメイヨシノ)も花が散りだした。手前のブルーベリーの蕾は日に日に大きくなっている



ブルーベリー畑では背の高くなったナズナの前で負けじ、と昨秋種をまいたレンゲが葉を伸ばし花を咲かせだした



2025年3月15日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良